まつえだより 5月 May

虫歯じゃないのに歯がしみる!?

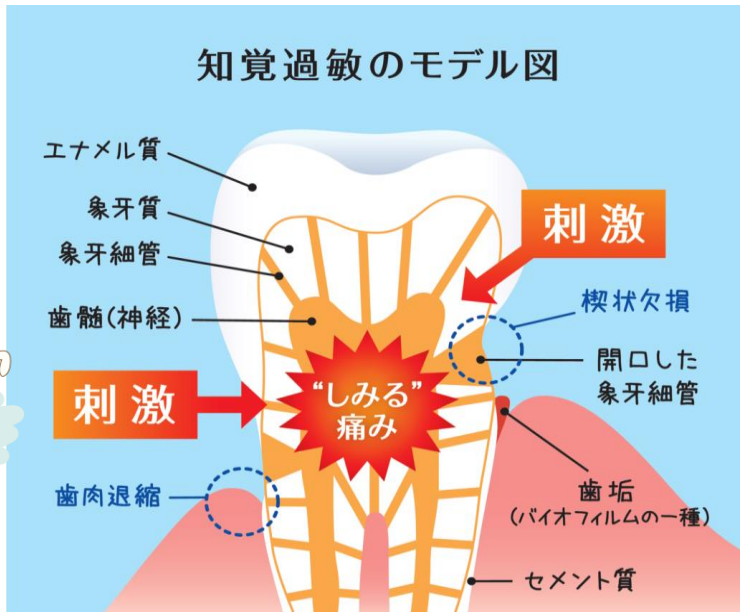
「虫歯じゃないのに歯がしみるように痛む」という方は知覚過敏かもしれません。
重度の知覚過敏では、歯の神経を抜かなければならないこともあります。

◎知覚過敏とは？

虫歯が見当たらないのに何故か歯がしみるように痛い・・・」
という方は、**知覚過敏**（象牙質知覚過敏症）である可能性があります。
歯の表面はエナメル質と呼ばれる組織に覆われており、
エナメル質の下には象牙質、さらにその下には歯の神経が存在しています。
知覚過敏とは、何らかの原因によってエナメル質が溶けたり
削れたりすることで、本来であれば表面化していない象牙質が露出し、
しみるような痛みを感じる症状を言います。

◎象牙質が露出すると痛みを感じるのはなぜ？

象牙質の表面に無数に空いている
象牙細管（ぞうげさいかん）と
呼ばれる穴によるものです。
象牙細管は歯の神経に向かって
トンネルのように通っています。
象牙質が露出すると、象牙細管から
歯の神経へ刺激が伝わりやすく
なってしまうのです。



どんなときに痛みを感じる？

①冷たい・熱い・甘い・酸っぱいなど
　刺激の強い飲食物を摂取したとき
②冷たい風が当たったとき
③歯ブラシや器具が当たったとき
④ホワイトニング治療中または治療後

自覚症状がある場合は早めに
歯科医院を受診し、重症化
する前に適切な治療を受ける
ことが大切です。

ハニヨイ
☎075-711-8241